

# 「 授業のシンプルデザイン –授業を整える– 」

## 1 テーマ設定の理由

近年、通常学級では「だれもがわかる授業づくり」の手段の一つとして、授業のユニバーサル化が注目されている。これは、個別の支援や障がい特化した支援ではなく、発達障がい等で困難さを持つ児童生徒を一斉授業の中でも包括的に指導支援していくための条件整備である。このユニバーサルデザインの視点を、特別支援教育の現場においても反映させ、授業の組み立て方や、教材・教具等の工夫と活用について見直し、改めて『授業のシンプルデザイン』として整理することで、児童生徒にとって「参加しやすい・参加できる・わかりやすい授業づくり」の手立ての構築になると考えた。こうした取り組みは、本校にとって、「授業づくり」のスタンダードな形の追及となり、定着することによって、各教科・領域や学部を貫き、系統性のある教育の実現につながるだろう。また、児童生徒にとって「より良い授業づくり」を目指し、多くの教員と意見交換しながら、共同して授業をつくりあげる過程には、児童生徒に対する多面的な理解や、指導支援の方法に関する情報交換の機会を得ることができ、教員としての専門性にもつながると考え、本テーマを設定した。

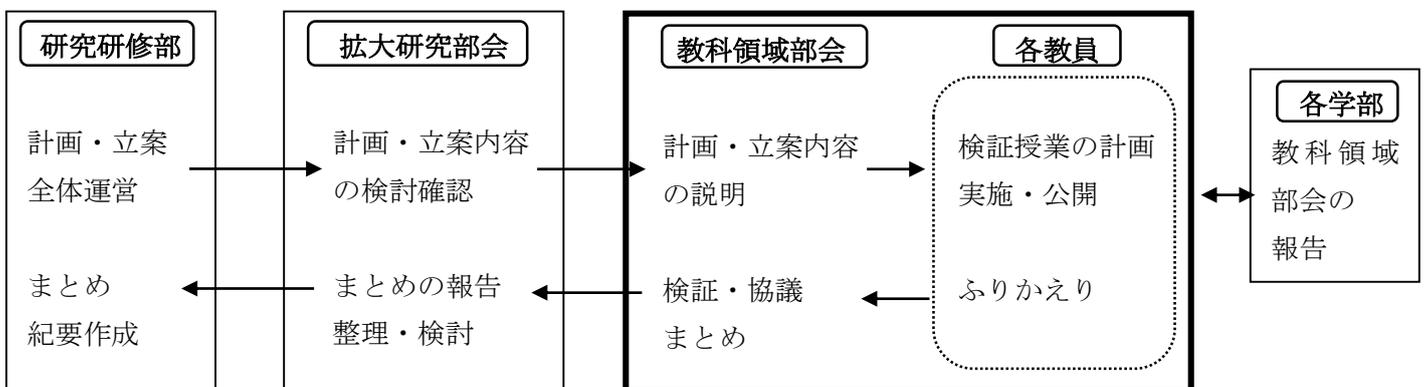
## 2 研究の目的

- 各教科・領域における授業実践をユニバーサルデザインの視点によって見直し、授業を「整える」ために必要な条件を検討し、整理する。
- 授業づくりの基本として「授業のシンプルデザイン」を提案し、全校による授業実践を通してその有効性を検証する。

## 3 研究仮説

- 共通の視点（授業のシンプルデザイン）を用いて授業づくりに取り組むことで、授業の枠組みが整い、児童生徒にとって参加しやすい・参加できる・わかりやすい授業ができる。
- 共通の視点（授業のシンプルデザイン）が、授業づくりの基盤として定着することは、各教科・領域や学部を貫き、系統性のある教育の実現につながる。

## 4 研究組織



\* 拡大研究部会・・・研究研修部+各教科領域部会の部長

\* 教科領域部会・・・国語 算数数学 体育 音楽 図工美術 自立活動  
作業学習 生活単元学習 日常生活の指導

### 目指す児童生徒像

「なかよく」 明るく思いやりのある子  
「げんきで」 いのちを大切にし、健康を守る子  
「がんばる」 自分の力を発揮し、懸命に取り組む子

参加しやすい・参加できる・わかりやすい授業

個別の指導・支援 **〈合理的配慮〉**

参加しやすい・参加できる・わかりやすい授業の**基礎**の確立 **〈基礎的環境整備〉**

## 研究主題

### 「 授業のシンプルデザイン —授業を整える— 」

#### <研究内容>

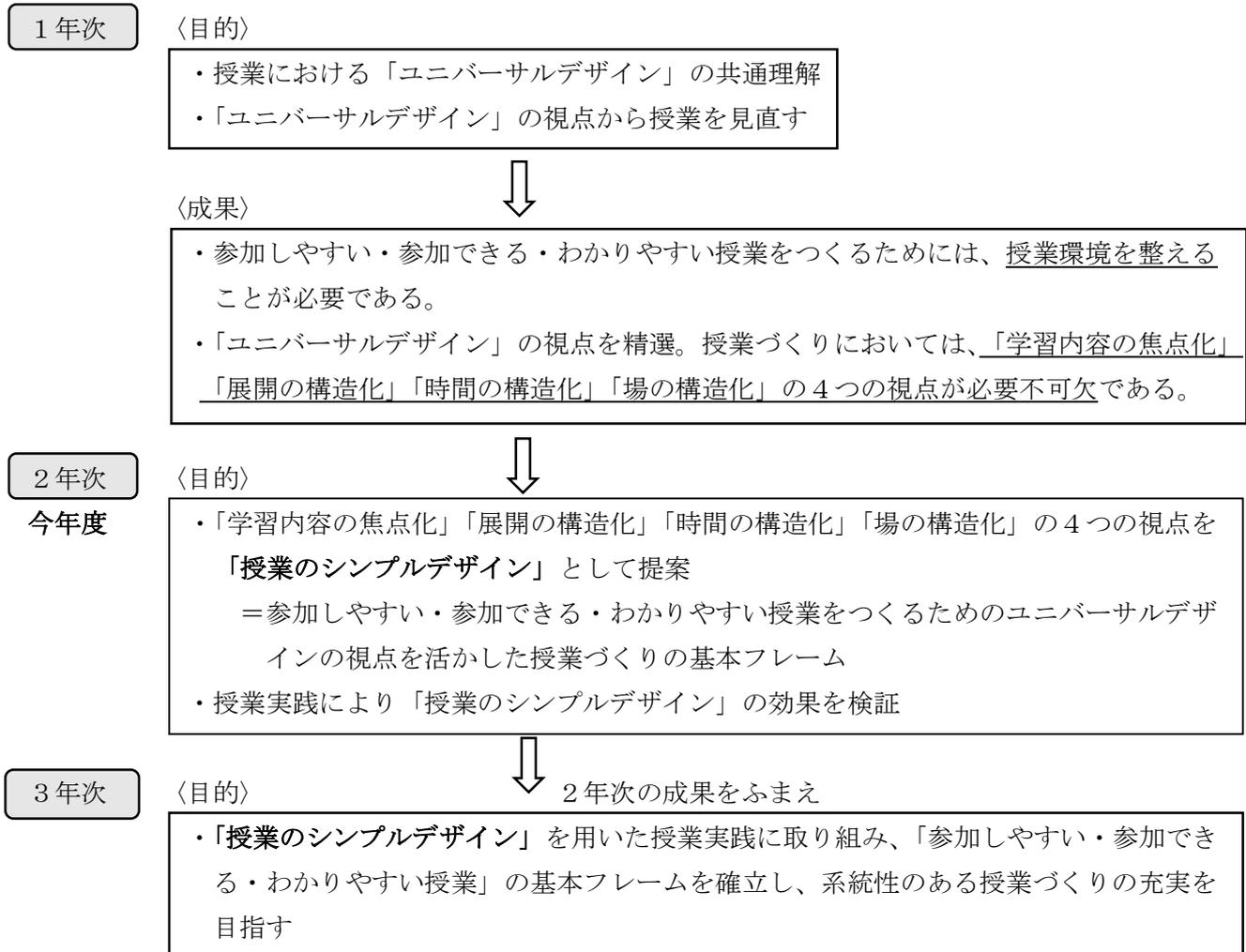
共通の視点  
「**授業のシンプルデザイン**」  
を用いた授業実践

「**授業のシンプルデザイン**」とは  
ユニバーサルデザインの視点を  
活かした授業づくりの基本フレ  
ーム (学習内容の焦点化・展開の  
構造化・時間の構造化・場の構  
造化の4視点)

- ・児童生徒が安全に安心して  
取り組める授業環境の設定
- ・授業の基本フレームの確立
- ・系統性ある教育の実現
- ・教員のチーム力・専門性の向上

**全教科領域部会**  
**全学部で**  
共通の視点「**授業  
のシンプルデザイ  
ン**」を用いる

## 6 研究の流れ（3年計画）



## 7 今年度の研究計画

月	内容
4	・学校研究ガイダンス
6～10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体研修</li> <li>・授業案づくり・授業計画</li> <li>・「授業のシンプルデザイン」を取り入れての授業実践・授業参観</li> <li>・授業のふりかえり</li> <li>・各教科領域部会で「授業のシンプルデザイン」の効果について検証協議</li> <li>・実践事例シートの作成</li> </ul>
11～1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科領域部会で実践事例の整理検討</li> <li>・アンケートの実施</li> <li>・全体教科領域部会 実践事例・アンケートをもとに研究のまとめ・報告会</li> <li>・公開授業指導案作成・発表準備</li> </ul>
2	・本発表

## 8 今年度の取り組み

「授業のシンプルデザイン」を取り入れて授業づくりをおこない、効果について検証した。また、実践内容を実践事例としてまとめた。

### 授業のシンプルデザインを用いて授業を組み立て、授業を実践した

#### < 基本フレームを用いた授業づくりの組み立てと4つの視点の内容例 >

<b>&lt;学習内容の焦点化&gt;</b> 学習の内容や活動を精選し、 明確化する	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習内容を絞り、授業をシンプルにする</li><li>・学習のめあてや内容を導入段階で明示</li><li>・学習のめあてや内容を声に出して確認（一緒に読む、復唱するなど）</li><li>・学習のめあてをより具体的に設定する</li><li>・完成作品等の提示</li></ul>
<b>&lt;展開の構造化&gt;</b> どのような手順や順番で学習 を進めていくかを考える	<ul style="list-style-type: none"><li>・授業の基本的な流れ「あいさつ→前時の復習→本時のメインとなる活動→振り返り→評価→次時の予告→あいさつ」等の定着、展開のパターン化</li><li>・学習活動の流れがわかる板書やワークシート</li><li>・学習内容や活動の山場がわかる表示</li></ul>
<b>&lt;時間の構造化&gt;</b> 活動や課題にどのくらい時間 をかけるかなどの時間配分を 考える	<ul style="list-style-type: none"><li>・授業（活動）全体の流れの提示</li><li>・授業開始と終了の合図</li><li>・活動時間の提示</li><li>・現在の活動の明確化（今、何をしているか／何をするときか）</li></ul>
<b>&lt;場の構造化&gt;</b> 活動の場所や座席・教員の位 置・教材教具の置き場所・児 童生徒の動線等を考える	<ul style="list-style-type: none"><li>・座席の配置</li><li>・教材教具の配置（机上の配置を含む）</li><li>・掲示物等の精選と配置</li><li>・教員の立ち位置（T1/T2）</li><li>・児童生徒の動線</li><li>・グループ活動の配置</li></ul>



- ・児童生徒が安心して取り組める授業環境を設定することができたか
  - ・授業の基本フレームを確立し、授業を整えることができたか
- ＝「参加しやすい・参加できる・わかりやすい授業」の基礎ができたか



「授業のシンプルデザイン」は授業づくり・指導・児童生徒にとって有効であったか